

桜の咲く

“その日”は

いつものように
おとずれた。

令和2年度

始業式



1学期

実施 令和2年
4月8日 水曜日

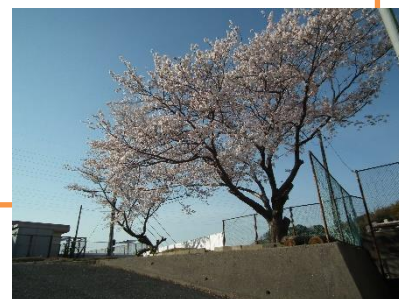
下関市立 文洋中学校

久しぶりの“その日”は



始業式。

1





とても、はやい登校。



手洗い。



体温計。

アルコール消毒。

ゲートキー

パズな

先生たちをこえて……



ステージクリアした生徒は式へ。



以前より

大切になった、
Social distance。

それを、守る整列の仕方。



生徒は着々と

隊形を組む。



体育館は、
久しぶりの集会状態。

学校が再開した瞬間。

校長先生のお話。

『《文洋魂》と書かれたのぼり旗。

この文洋魂は、卒業生や地域の方々、
そしてここにいる皆さんが作り上げてきた歴史・伝統・文化であり、
他の学校には負けないというみんなの誇り・PRIDEと文洋 BRAND。
この PRIDE と BRAND を1年間かけて皆の力でさらに高めていきたい。』

『3C これは、チャンス、チャレンジ、チェンジの頭文字をとったもの。
人生には、様々な節目、出会いがある。

今日の進級というのも人生の節目・出会いの一つ。

この節目をいかに大切にとらえ、

新たな自分へと変身していくかがどれも重要であり、



これからの君たちの成長の鍵を握るターニングポイントとなる。

だからこそ、新たなスタートである今、

このチャンスを逃さず、

何事にもチャレンジし、

自分をチェンジさせるために決意を新たに頑張ってもらいたい。』

3C を心にもとう。

『《感動のある文洋中学校》』

『集団の一員としての自覚を持つ。

ここにいる一人ひとは、

文洋中学校を創っていく大切なメンバー・仲間。

その大切なかけがえのない1人であるということを忘れず、

仲間を大切にし、認め合い助けあう心、

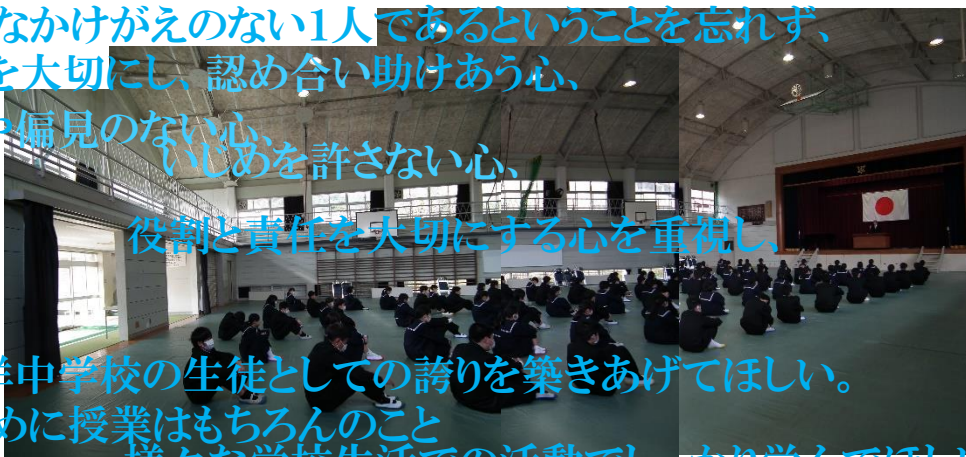
差別や偏見のない心、
いじめを許さない心、

役割と責任を大切にする心を重視し、

文洋中学校の生徒としての誇りを築きあげてほしい。

そのために授業はもちろんのこと

様々な学校生活での活動でしっかり学んでほしい。』



3年生と2年生の関係教員の発表。



式は終了し、学級開きへ突入。

